

## 2017年度 学校関係者評価結果

### 1. 調査の概要

- ・「学校評価」とは、各学校が教育目標を設定し、達成状況についての評価を行うと共に改善を図るためのもので、学校教育法では幼稚園においても実施することが望ましいとされています。
- ・花園幼稚園では、先生たちによる「自己評価」と、保護者と地域の方々による「学校関係者評価」があります。
- ・今年、5名の方（保護者、評議員、地区社会福祉協議会、卒業生、園医）に評価をお願いしました。

### 2. 評価結果

- ・評価は花園幼稚園の教育目標などについて、毎年固定した5つの項目を評価対象としています。

#### 1) 教育目標について

花園幼稚園では、「こころもからだものびやかに」を大きな目標として、次のような子ども達を育てるための保育を行っています。

- (1) 祈りを通して神様と交わる子ども
- (2) 常に感謝し、周りの人を思いやる子ども
- (3) 喜びや悲しみ、美しさを感じるとともに、それを表現できる子ども
- (4) 自然や生き物に親しみ、大切にすること
- (5) 心身ともにすこやかに、たえず成長する子ども

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

#### 2) 保育内容について

花園幼稚園は、次のことを大切にしながら保育を実践しています。

- (1) 祈りと礼拝を生活の中心に据え、神様を知り、感謝する心、他の人を思いやる心を育てる。
- (2) 自由遊びを通し、進んで人と交わる力、創意工夫する豊かな心を育み、人間関係の基本を身につける。
- (3) 園外保育に多く出かけ、さまざまな体験を通し、自然、生き物との触れ合いを持ち、愛する心、感謝の気持ちを育む。
- (4) 芋掘り、パンやクッキー作り、もちつきなどで楽しんだり、身近なものを使った工作や、画を描いたりして作る喜びを味わう。
- (5) 様々な子どもたちが共に育つ環境が必要であるという観点から、通常よりも手厚い支援が必要な子どもも一緒に保育を行っている。

○評価をお願いした5名の方から、すべて「よいと思う」とのお答えを頂きました。

#### 3) 地域及び保護者との連携について

花園幼稚園は、地域との連携を大切に、次のようなことを実践しています。

- (1) 地域のお年寄りを招く会やミニコンサートなど地域の人との交わりの場を持っている。
- (2) 未就園児とその保護者のために触れ合いや育児支援の場を設けている。

- ①「のえんどうの会」（月2回開催）

②「園庭開放」(毎週水曜日開催)

③「親子で遊ぶ会」(每学期1度開催)

(3) 保護者の要望に応え、預かり保育を2016年度は17時までに延長した。また、2017年度は18時までとする予定である。

(4) 保護者の要望に応え、満3歳に到達した子どもを年度途中でも受け入れている。

○4名の方から「よいと思う」、1名の方から「見直したい所がある」とのお答えを頂きました。

#### 4) 安全・衛生について

花園幼稚園は、子どもの安全と健康の確保のために、次のような体制をとっています。

(1) 園医、園歯科医の方々と連携し、定期的な健康診断を行うと共に、緊急時に対応できる体制をとっている。

(2) 施設・設備の安全点検を行い、施設・設備の不備による危険を防止することを最優先の課題としている。

(3) 教職員が「ヒヤリハット」の事例を相互に報告し、危険を未然に防止するよう努めている。

(4) 避難訓練を月1度行い、地震・火災・風水害に備えている。

(5) 津波への対策として、消防署と連絡を密にし、避難方法についても計画している。

○評価をお願いした3名の方が「よいと思う」、1名の方から「付け加えたいことがある」、もう1名の方は「不明」とのお答えを頂きました。

#### 5) 教職員の充実について

花園幼稚園は、これらの活動が円滑に進められるよう、また、できるだけ丁寧な教育を行うために、教職員の充実を図っています。2017年度からはかなり体制を強化しますので、2016年度との対比を行います。

(1) 教職員の体制は以下の通り

【2016年度】			【2017年度】		
園長	1名	(週3日勤務)	園長	1名	(週5日勤務)
チャプレン	1名	(非常勤)	チャプレン	1名	(非常勤)
			副園長	1名	(週5日勤務)
主任教諭	1名	(週5日勤務)	専任主幹教諭	2名	(週4日勤務)
教諭	3名	(週5日勤務)	教諭	3名	(週5日勤務)
補助教員	2名	(非常勤)	補助教員	1名	(週5日勤務)
事務職員	1名	(週4日勤務)	事務職員	1名	(週5日勤務)

(2) 教職員の資質向上のための研修や学びの場を設けている。

①日本聖公会や横浜教区が主催する研修会

②私立幼稚園協会が主催する研修会

③その他、園内での研修や自主的な研修

○3名の方が「よいと思う」、1名の方が「付け加えたいところがある」、1名の方が「不明」とのお答えを頂きました。

### 3. 頂いたコメント一覧

#### 1) 教育目標について

- ・教育目標として挙げられた5つの項目は全てこれから社会に触れて生きる力をつける種となるものです。これらを培うことの意味はますます増えていくと思われまます。温もりのない器具を介しての人間関係が悲しい事態を招くニュースに接するたびに想像力・感受性は...と思います。
- ・キリスト教に基づいた一貫した教育目標を今後も継続されることを希望します。

## 2) 保育内容について

- ・園外保育の実際を目にすることがあり、引率の先生方が園児に細やかな配慮をしていることがわかりました（ツバメの巣の観察）。
- ・支援を必要とする園児への対応については関心があります。十字地区社会福祉協議会による園児と地域在住高齢者との交流会に出席した折に、園児の活動ぶりを通じて実践されていることを確認いたしました。
- ・近頃、保護者は幼稚園に早期教育を求める傾向にありますが、それは個々の家庭において行うことであり、幼稚園が行うことではありません。子どもたちが卒園して数年経た今思うのは、自由遊びがいかに大切だったかということです。様々な子どもたちがいる中で、関わりを身に付け、自分で考え行動するという、生きていくための土台を幼稚園時代に築けたと実感しています。与えられたことのみ行ってきた子どもは、自ら行動することができません。何をどうしたらいいのか分かりません。ぜひ、これからも継続していただきたいと思います。
- ・園外保育に出かけ、様々な体験をしているようですが、その中に例えば絵画鑑賞などは良いと思います。清閑亭は建物も見る価値があり、展覧会もしています。他にも画廊が小田原にはいくつもあります。

## 3) 地域及び保護者との連携について

- ・高齢者にとって園児との触れ合いは和む心を得ることにとどまらず、活力も戴いています。「ソーラン節」の演技には引き込まれるように、自由にならない身体を気持ちだけは動かしています。これからも継続していただきたいと思います。
- ・預かり保育について、保護者の要望とありますが、18時までには延長したことで何割の保護者が利用したのでしょうか。保護者に急用が生じた場合は非常に助かると思いますが、教職員の負担が増すのは避けたいです。
- ・社会の変化に伴い、保護者から色々な要求があり、それに応えていかれず姿勢は大変とおもいますうが良いことでしょう。幼稚園経営のためにもなると思います。

- 4) 安全・衛生について
- ・小田原市では3歳児健診で視力検査を実施していますが、家庭で検査する方法をとっており、弱視などの発見が見落とされる傾向にあります。幼稚園にて視力検査を実施することで、こうした問題が改善されるのではと考えます。神奈川県では藤沢市で希望する保育園に視力検査を実施しています。

## 5) 教職員の充実について

- ・体制を見ますと、各クラスの担任3名のほかに、園長、副園長を除き3名の教職員がいますので、妥当な人数だと思えます。安全対策にも関係しますが、子どもたちは、いつどこで思わぬ怪我をするか分からないので、子どもが一人でも居る所には常に教職員が居るという体制をとっていただきたいと思えます。